

【取組内容】 生徒一人一人が学びに向かうための工夫

取組の具体

○年度初めの授業では、教師が用意したGoogleスプレッドシートを用いて活動していくことが多かったが、生徒の学びが自走してくると、文字を中心に表現することに物足りなさを感じるようになったことから、Googleチャットで動画を共有したり、GoogleスライドやKeynoteで友達と共同編集したりするなど、生徒が表現の方法を自由に選択できるようにした。

生徒の変容

○動画や写真で共有することで、より分かりやすく伝えられるようになり、振り返りに見返して活用する生徒が増えた。  
 ○自分で共同編集機能やノートなど、目的に応じて選択して活用し、記録することができるようになった。伝わりやすさを考え、友達との対話からヒントを得て、表現の仕方を工夫するようになった。  
 ○様々な方法で記録やまとめができるようになったことで、生徒が、自分に合った方法で学習を進めることができるようになり、次時の学習への意欲を高めることにもつながった。

Googleチャットで、実験の経過を動画や写真、文字による説明で共有

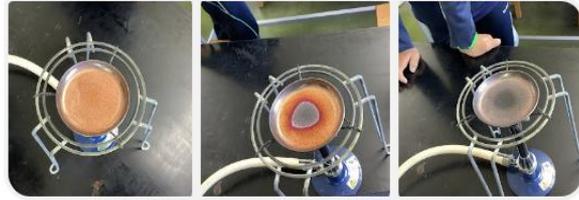
チャット      ファイル      タスク

加熱（四班・一回目）

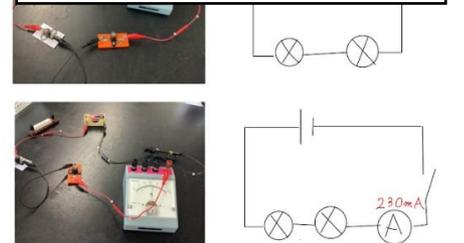


水 9:32 - 編集済み

加熱前      加熱途中      加熱後



Keynote等で結果を共有



水入れる前 16℃ → 9℃ 水入れた後  
水温が下がった



デジタルと手書きを組み合わせたノートづくり

活動するためのエネルギーを取り出して使われる

酸素を多く含む、二酸化炭素が少ない血液 → 酸素が少なく二酸化炭素を多く含む血液

たくさんの肺胞があることで、  
にふれる表面積が大きくなる

静脈では静脈血が動脈血に変化し、酸素は全身の細胞に運ばれる

夜のほたるき

活動している → 心臓にある → 心臓 → 出す

細胞は届いた酸素を使って、養分・エネルギーを活動（活動）

水と二酸化炭素がでる

細胞による呼吸

